



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社ぐるなび

上場取引所 東

コード番号 2440 URL <https://corporate.gnavi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 征一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 管理本部長 (氏名) 飯塚 久夫

TEL 03-3500-9700

四半期報告書提出予定日 平成29年10月31日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	17,560	△1.0	2,824	△20.6	2,833	△20.7	1,928	△21.0
29年3月期第2四半期	17,732	8.4	3,559	8.2	3,572	7.9	2,441	10.9

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,932百万円 (△19.1%) 29年3月期第2四半期 2,388百万円 (8.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	41.23	41.14
29年3月期第2四半期	51.80	51.63

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	25,247	18,952	75.0	404.76
29年3月期	23,917	18,038	75.3	385.31

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 18,930百万円 29年3月期 18,013百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
30年3月期	—	22.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,800	△3.2	4,500	△33.2	4,500	△34.0	3,000	△37.5	64.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年10月30日)公表いたしました「平成30年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	48,675,100 株	29年3月期	48,675,100 株
30年3月期2Q	1,905,759 株	29年3月期	1,924,559 株
30年3月期2Q	46,765,207 株	29年3月期2Q	47,120,632 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続きました。当社サービスの対象である外食産業の売上高は客数が堅調に推移したことにより前年を上回っているものの依然として消費者の節約志向は強く、人手不足やそれに伴う人件費の増加など経営環境には厳しさも見られます。

当社は、平成28年7月に発表した中期経営計画の下、「1,000人のサポート体制」の機能を最大限に活用する営業体制の整備とともに商品開発力の強化を実施し、今期においては、当社の中核領域である販促支援を強化しつつ、飲食店の多角化支援や販促以外の業務支援を進めることで飲食店支援事業の拡大を図る一方、食関連産業への業務支援や非日常領域における事業構築、会員(有料)サービスの拡大など新たな事業・サービスの具現化にも取り組むことで、中長期的な成長を実現するための土台作りを行っております。

具体的には、飲食店の販促以外の業務支援において4月にPOSレジシステム「ぐるなびPOS+」の提供を開始した後、連携する機能として6月にマルチ決済サービス「ぐるなびPay」、8月にセルフオーダーシステム「ぐるなびPOS+ Table Top Order」の提供を開始し、飲食店の業務効率や生産性の改善につながるサービスを拡充しております。また6月に飲食店開業予定者向けの物件検索サイト「“ぐるなびPRO”飲食店物件探し」を開始するなど、従来の販促支援に留まらず飲食店経営のあらゆる局面に関わるサービスを提供することで、より多くの飲食店の支援を目指しております。

食関連産業への業務支援においては、食品メーカーをはじめとした事業者に向けて、商品開発等に役立つ飲食店、消費者の食に関するトレンド・ニーズを分析できるツール「ぐるなびデータライブラリ」を開始しました。

旅やお出かけ等の非日常領域における事業構築においては、訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN」において6月より「トリップアドバイザー」の口コミを表示するサービスを開始したほか、7月には新たに11社の参画企業が加わり各企業の運営する施設・サービス等において当サイトを案内するなど、サイトの利便性向上、利用者の拡大が進んでおります。また一都三県のおでかけ情報サイト「レッツエンジョイ東京」では月間利用者が510万人を超え、メディアパワーが拡大すると同時におでかけを通じた外食需要の喚起、飲食店への送客の強化にもつながっております。

さらに、eコマース事業の強化にも取り組んでおり、4月には基盤となるシステムを刷新し、外部連携等による商品の販路拡大を可能にしました。この取り組みを通し飲食店の多角化支援はもとより、食関連産業に向けたプロモーション支援、非日常の楽しみであるギフト領域における事業展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績について、ネット予約件数の拡大を背景にスポット型売上が順調に推移した一方、人手不足の深刻化等を背景に大口取引先を中心とした契約高の減額が高水準だったこと、また受注が低調だったことによりストック型サービスが減少し、売上高は17,560百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

事業の区分別売上高は、次のとおりであります。

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	対前年 同四半期 増減率 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
基盤事業	飲食店販促サービス			
	ストック型サービス	15,275,917	14,865,316	△2.7
	スポット型サービス	1,083,600	1,314,955	+21.4
	小計	16,359,518	16,180,271	△1.1
	プロモーション	344,789	348,366	+1.0
	小計	16,704,307	16,528,638	△1.1
	関連事業	1,028,431	1,031,626	+0.3
	合計	17,732,738	17,560,265	△1.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

加えて、費用面においてeコマースに関する基盤システム等の減価償却費や、新たな事業・サービスの構築に備え前期実施した人員の増強に伴う労務費・人件費等が増加したことから、利益については営業利益2,824百万円(前年同期比20.6%減)、経常利益2,833百万円(前年同期比20.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,928百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末と比べ1,330百万円増加し、25,247百万円となりました。主な増減内訳は、ソフトウェア1,117百万円の増加、現金及び預金314百万円の増加、受取手形及び売掛金170百万円の減少であります。

負債については、前連結会計年度末と比べ415百万円増加し、6,294百万円となりました。主な増減内訳は、未払法人税等304百万円の増加、未払金296百万円の増加、賞与引当金167百万円の減少であります。

純資産については、前連結会計年度末と比べ914百万円増加し、18,952百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,928百万円(増加要因)、剰余金の配当1,028百万円(減少要因)によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ314百万円増加(前年同期は4,969百万円減少)し、8,237百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3,577百万円(前年同期比34.4%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2,834百万円(増加要因)、減価償却費1,439百万円(増加要因)、法人税等の支払額599百万円(減少要因)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,242百万円(前年同期比52.2%増)となりました。主な内訳は、ソフトウェアの取得による支出1,690百万円、有形固定資産の取得による支出345百万円、投資有価証券の取得による支出145百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,016百万円(前年同期比83.4%減)となりました。主な内訳は、配当金の支払額1,026百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月30日付けで、通期業績予想の修正を行っております。詳細については「平成30年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,922,826	8,237,143
受取手形及び売掛金	4,663,750	4,493,489
未収入金	1,893,280	1,727,876
その他	1,456,202	1,548,859
貸倒引当金	△274,421	△264,575
流動資産合計	15,661,638	15,742,794
固定資産		
有形固定資産	1,090,146	1,144,082
無形固定資産		
ソフトウェア	3,847,876	4,965,454
その他	974,998	734,065
無形固定資産合計	4,822,875	5,699,520
投資その他の資産	2,342,375	2,660,736
固定資産合計	8,255,397	9,504,339
資産合計	23,917,035	25,247,133
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,963	203,998
未払法人税等	714,651	1,019,420
賞与引当金	1,042,746	875,639
ポイント引当金	148,178	190,124
未払金	2,241,297	2,537,608
その他	1,243,228	1,235,168
流動負債合計	5,647,066	6,061,958
固定負債		
資産除去債務	230,519	231,614
その他	900	900
固定負債合計	231,419	232,514
負債合計	5,878,486	6,294,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,334,300	2,334,300
資本剰余金	2,884,780	2,884,780
利益剰余金	17,881,833	18,744,918
自己株式	△5,089,148	△5,039,434
株主資本合計	18,011,766	18,924,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,734	13,295
為替換算調整勘定	△2,933	△7,292
その他の包括利益累計額合計	1,800	6,002
新株予約権	24,982	22,093
純資産合計	18,038,549	18,952,659
負債純資産合計	23,917,035	25,247,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,732,738	17,560,265
売上原価	4,123,235	4,673,569
売上総利益	13,609,503	12,886,695
販売費及び一般管理費	10,049,590	10,061,893
営業利益	3,559,912	2,824,802
営業外収益		
受取利息	2,148	2,370
為替差益	734	—
受取配当金	—	1,582
助成金収入	6,220	4,205
その他	3,505	5,661
営業外収益合計	12,608	13,819
営業外費用		
為替差損	—	4,688
営業外費用合計	—	4,688
経常利益	3,572,521	2,833,932
特別利益		
関係会社清算益	—	744
新株予約権戻入益	56	—
特別利益合計	56	744
税金等調整前四半期純利益	3,572,578	2,834,677
法人税等	1,131,495	906,337
四半期純利益	2,441,082	1,928,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,441,082	1,928,340

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,441,082	1,928,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	8,561
為替換算調整勘定	△52,484	△4,359
その他の包括利益合計	△52,484	4,202
四半期包括利益	2,388,598	1,932,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,388,598	1,932,542
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,572,578	2,834,677
減価償却費	1,205,209	1,439,107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28,776	△9,846
賞与引当金の増減額(△は減少)	△570,504	△167,107
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△25,742	41,945
関係会社清算益	—	△744
売上債権の増減額(△は増加)	215,824	169,544
未収入金の増減額(△は増加)	△118,743	165,237
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,904	△52,965
未払金の増減額(△は減少)	△136,926	△138,061
前受金の増減額(△は減少)	108,842	△87,840
その他	△173,346	△21,239
小計	4,035,062	4,172,707
利息及び配当金の受取額	2,479	3,952
法人税等の支払額	△1,376,217	△599,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,661,324	3,577,129
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,000,000	—
投資有価証券の取得による支出	△49,000	△145,220
有形固定資産の取得による支出	△370,791	△345,271
ソフトウェアの取得による支出	△1,701,014	△1,690,731
敷金及び保証金の差入による支出	△351,197	△73,835
その他	△1,201	12,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,473,205	△2,242,894
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△4,999,761	—
配当金の支払額	△1,111,620	△1,026,218
その他	5,040	10,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,106,341	△1,016,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,912	△3,779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,969,134	314,317
現金及び現金同等物の期首残高	12,131,890	7,922,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,162,756	8,237,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結会社において当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。